

第3章

地域別構想

第3章 地域別構想

1 地域別構想とは

全体構想に示した整備方針を踏まえ、地域住民とともに地域の特性や課題を整理し、地域レベルのまちづくりの方針を定めるものです。

2 地域別構想の内容

(1) 地域区分の考え方

下図に示すように、行政区域全体を釧路西部、釧路中部、釧路東部、阿寒及び音別の5地域に区分します。

【地域区分図】



地理院地図（国土地理院）を加工して作成

*都市計画区域の指定の有無を基本とし、生活の圏域、地形などの自然的条件やこれまでの行政の経緯を考慮して区分します。

*都市計画区域である釧路地域は、人口が多く*都市施設が集積しているため、土地利用や拠点の配置などを考慮し、地域を貫流する釧路川及び新釧路川を境に3つの地域区分を設定します。

*都市計画区域を指定していない阿寒地域及び音別地域は、各拠点の既成市街地が郊外の農地や森林での生産活動などを支えているように、拠点と郊外が密接な関わりをもつことから、全域に地域区分を設定します。

【地域区分ごとの概要一覧】

都市計画区	地域区分	地域の面積 (市街化区域面積)	2020年(令和2年) 国勢調査人口	2020年(令和2年) 国勢調査人口割合
都市計画 区域内	釧路 西部地域	※1 16,508ha (2,203ha)	46,648人	28.26%
	釧路 中部地域	※1 2,481ha (1,343ha)	59,667人	36.14%
	釧路 東部地域	※1 3,198ha (1,733ha)	52,696人	31.92%
都市計画 区域外	阿寒地域	※2 73,925ha	4,390人	2.66%
	音別地域	※2 約40,140ha	1,676人	1.02%
合	計	※3 136,329ha (5,279ha)	165,077人	100%

※1：GISによる計測

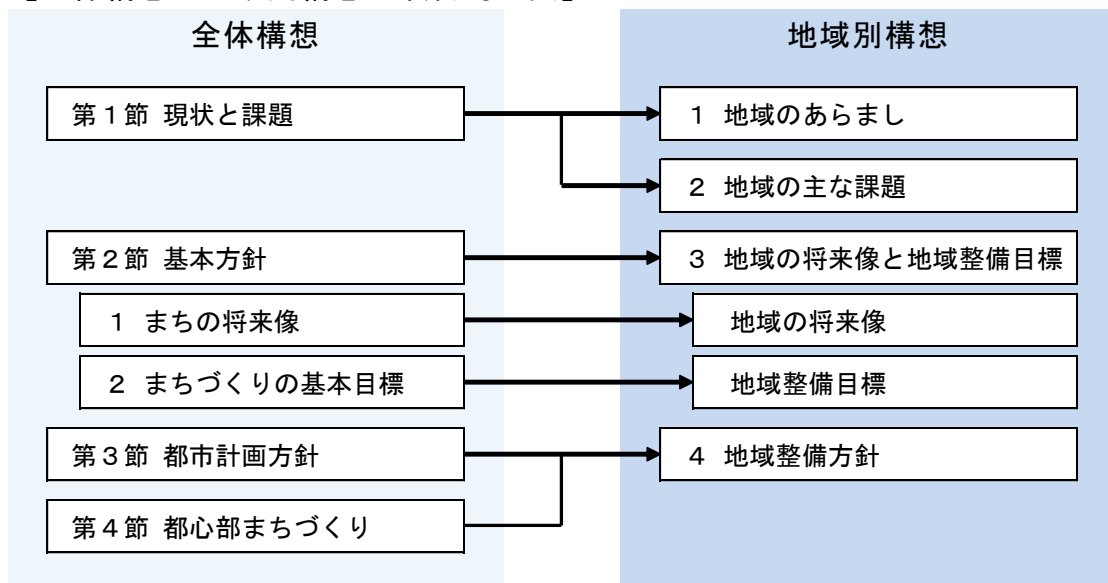
※2：国土交通省国土地理院平成17年全国都道府県市町村別面積調による

※3：国土交通省国土地理院令和3年全国都道府県市町村別面積調による（市街化区域面積の合計はGISによる計測）

(2) 全体構想との関係

地域別構想では、全体構想で掲げた全市的な課題や方針を、各地域の課題や方針に具体化するために、全体構想の各節に対応する項目を設けることとします。

【全体構想と地域別構想の項目対応図】



(3) まちづくりの基本目標との関係

地域別構想では、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」を達成するために、各地域の「地域整備目標」を次のとおり定めます。

(凡例)

全体構想「まちづくりの基本目標」

地域別構想「地域整備目標」

(当てはまる地域区分)

安全で心地よく暮らせるまちづくり

安全で心地よく暮らせる地域づくり

(釧路西部地域、釧路中部地域、釧路東部地域、阿寒地域、音別地域)

豊かな自然を身近に感じる持続可能なまちづくり

地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導

(釧路西部地域、釧路中部地域、釧路東部地域、阿寒地域、音別地域)

産業を支えるまちづくり

港湾や空港を活用した物流、交流機能の強化と産業集積地の形成

(釧路西部地域)

釧路市の活力を生み出す産業集積地の形成

(釧路中部地域、釧路東部地域)

自然を生かした産業の振興

(音別地域)

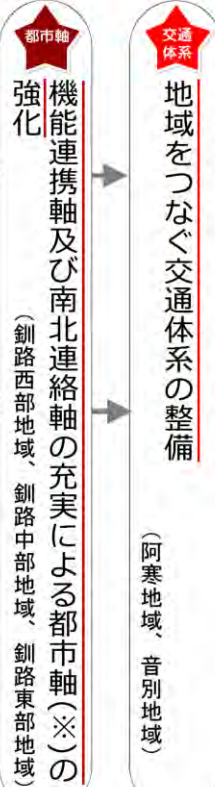
地域の価値が高まり多様な結びつきが生まれるまちづくり

釧路市全体やひがし北海道を支える拠点の形成

(釧路中部地域)

自然を生かした観光業や農林水産業の振興

(阿寒地域)



※ 都市軸

本市の交通の骨格を踏まえ、*都市計画区域である釧路地域において、次の2つの軸からなる都市軸を定めます。

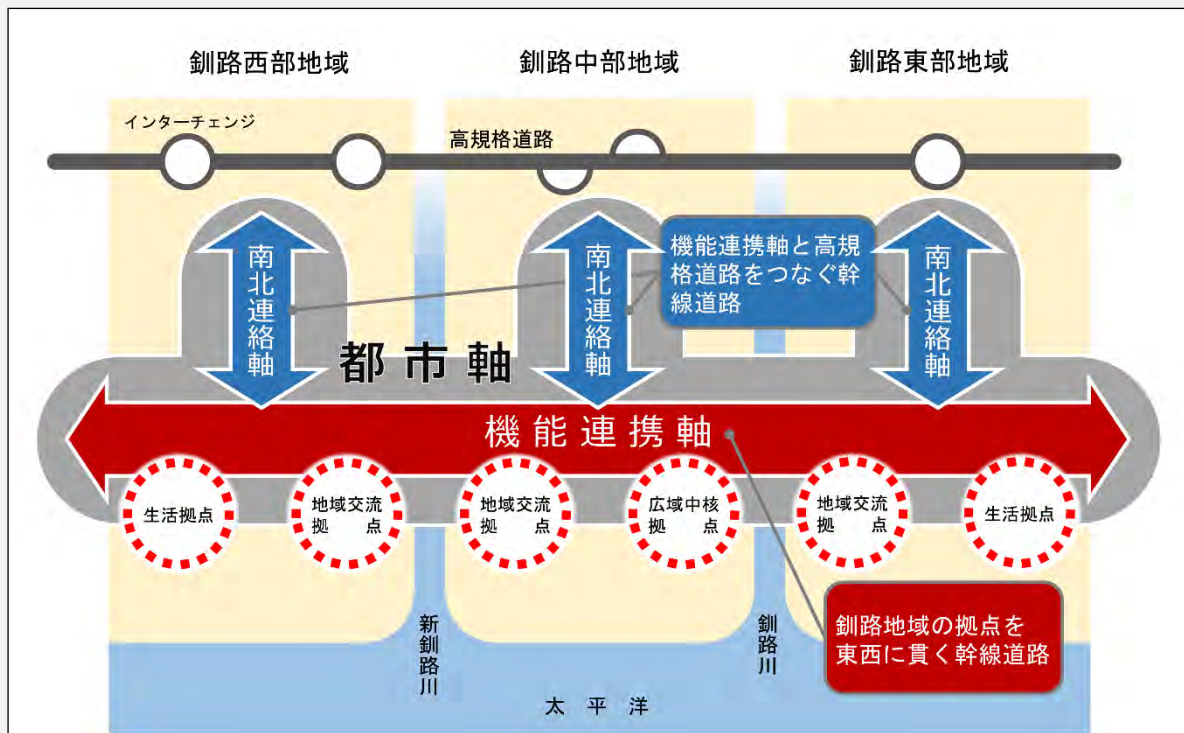
ア 機能連携軸

釧路地域の*都市計画区域を東西に貫く幹線道路を「機能連携軸」に位置づけます。機能連携軸の充実により、*市街化区域内の広域中核拠点、地域交流拠点及び生活拠点が互いに強く結びつくことで、拠点のもつ医療、福祉、商業などの*都市機能のメリットを効果的に受けられる市街地の形成を図ります。

イ 南北連絡軸

機能連携軸と高規格道路のインターチェンジをつなぐ幹線道路を「南北連絡軸」に位置づけます。南北連絡軸は、近隣の市町村間の広域移動などを円滑にし、災害時には避難路や緊急物資の輸送路となります。

【都市軸のイメージ】



各拠点到*都市機能を集約し、その周辺に利便性の高い生活圏として居住が集積されることによって効率的で将来に持続可能な*コンパクトなまちづくりを進めています。

3 地域別構想策定の流れ

5つの地域の特性を踏まえた上で、地域別構想に住民意見を反映するための意見交換会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催をやむを得ず取りやめ、代替措置として本市ホームページを通じての動画配信及びDVDの配付並びに希望する団体への個別の説明会を行い、意見をいただきました。

その他、これまで本市が実施してきた各種アンケート調査（「*釧路市まちづくり基本構想など策定に向けたアンケート」「釧路市の今後のまちづくりに関するアンケート」）の結果及び市政懇談会、地域協議会での意見によって取りまとめた住民意見から、地域の課題を導き出しました。

地域の課題を解決し、地域整備目標を達成するために、住民意見を踏まえ、地域のまちづくりの基本的な考え方となる地域の将来像及び地域整備方針について検討を進めました。

4 地域別構想の検証

(1) 検証の考え方

各地域の課題解決に向け、策定した整備方針の取組み状況について、具体的な進捗を管理するため、毎年検証作業を行い、公表します。

(2) 臨機応変なまちづくり

社会や経済システムにおいて「*グレート・リセット(問題を解決するために、これまでのシステムを一度リセットすること)」が必要であると提唱されるなか、本市を取巻く情勢も大きく変化しており、その変化に対応しながら持続可能なまちづくりを進めていかなくてはなりません。そのため、社会経済状況やまちの状況の変化に対して、*アジャイルな(必要に応じて臨機応変に対策を検討し、機動的かつ柔軟に取り組む)まちづくりを進めていきます。

【アジャイルなまちづくりのイメージ】



5 地域主体のまちづくり ～まちのツボ～

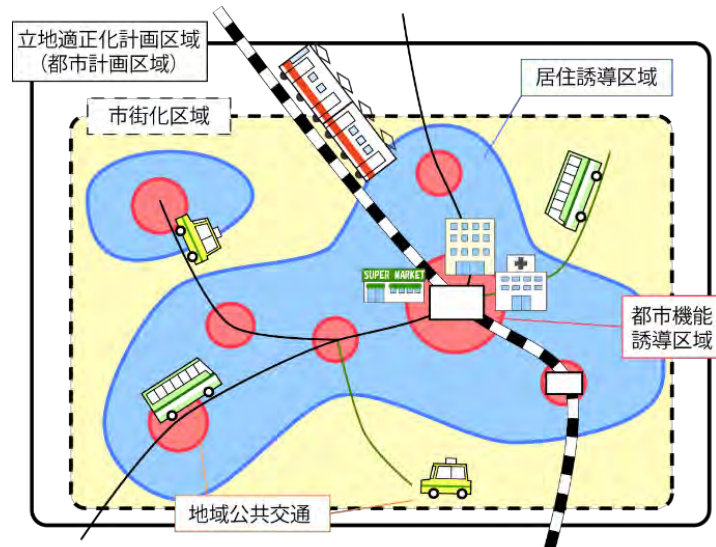
今後、人口減少、高齢化が進むことで、市街地の人口密度が低下し、日常生活に身近な医療や買い物などのサービスを受けることが難しくなることが懸念されます。今後のまちづくりは、一定の人口密度を保ちながら、生活に必要な*都市機能を維持し、効率的に進めることが重要となります。

このようなことから、*釧路

市立地適正化計画を策定し、*都市機能が集積している地区に、拠点を構築し効率的で将来に持続的なまちづくりが可能となるような取組みを進めています。

一方、こうした課題に対応し、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるためには、行政だけでなく、地域住民一人一人がまちづくりに参加する意識を持った上で、まちの課題解決に取り組む、「地域主体のまちづくり」が必要不可欠となっています。地域別構想の5つの地域区分にこだわらず、地域がイキイキとする「まちのツボ」を探しながら、地域主体のまちづくりを目指します。

【コンパクトなまちづくりイメージ】



～「まちのツボ」とは～

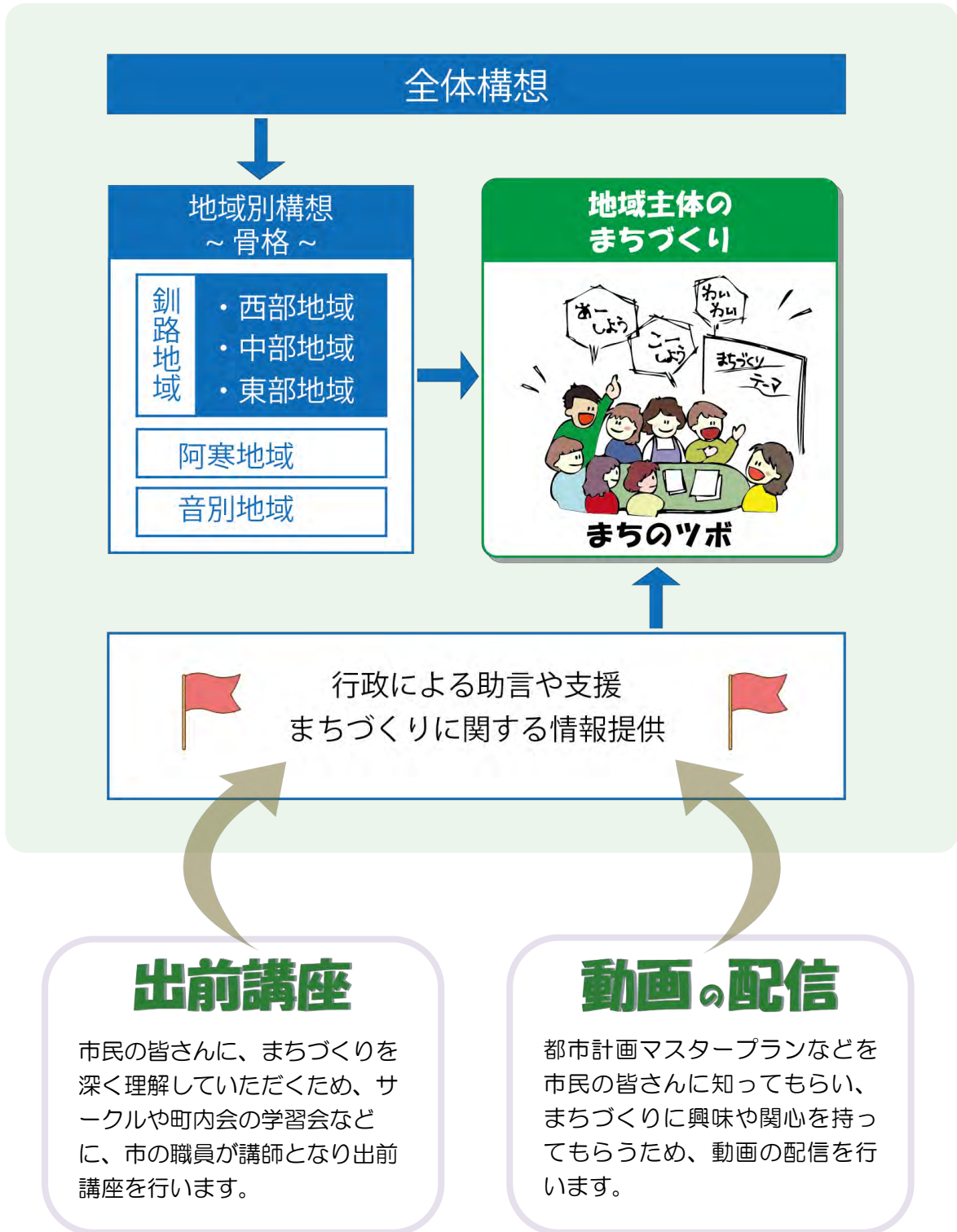
- 人体には、ある場所を刺激すると痛みが治まり、新陳代謝が高まるなどの相乗効果が期待できる「ツボ」があります。



- この人体の「ツボ」のように、刺激するとまち全体がイキイキする場所が「まちのツボ」です。
- 「まちのツボ」を押すのは、地域に住む住民や企業、市民団体などが考えられます。

地域が主体となって「まちのツボ」を探しだし、地域の特徴を生かした個性あるまちづくりが行えるように、「地域別構想」を地域のまちづくりの骨格として位置づけ、行政による助言や支援、まちづくりに関する情報提供のサポートをしていきます。

【地域主体のまちづくりのイメージ】



6 まちづくりを推進するための支援

本市では、魅力ある地域づくりを進めるための制度が設けられており、地域が主体となったまちづくりを推進します。

【まちづくりの支援措置の一例】


地域づくり事業(都市計画課)	
目 的	都市計画マスタープラン地域別構想の将来像の実現に向け、地域住民が主体となり、個性的で魅力ある地域づくりを進めることを目的としている。
補 助 金	地域づくり事業に要する経費のうち100分の90以内 (本市以外からの補助金などを受けている場合は、その額を減じた額)
事例紹介	<p>《新橋大通地域まちづくり事業》 利便性が高く、安全、安心で誰もが住みよい「魅力あるまち」とすることを目指し、子育て支援や高齢者福祉などの公共機能を設置する拠点性能の向上に向けた社会実験の実施を行いました。</p> <p>その他、津波発生時に避難可能な施設の選定、協力要請、避難経路や避難方法などを検討し、地域防災避難マップの作成を行いました。</p> <p>《橋南地区花と緑の回廊整備事業》 橋南西部連合町内会が中心となって「花と緑の回廊」整備事業が実施されました。当該事業では、入舟5丁目の旧臨港鉄道跡地のハマナス街道の整備及び芝桜の植栽、入舟6丁目地区の市道沿いにフラワーボックスの設置、道道歩道植樹マスや大町公園、啄木ゆめ公園などへの施肥などを行いました。</p>





【防災避難マップ作製検討会議】



【フラワーボックスの設置】

	<p>《大楽毛地域づくり事業》</p> <p>都市計画マスタープランの地域の将来像「釧路市の西の玄関口にふさわしい交流を図るまち」を実現するために自分たちで何ができるのか話し合い、地域の企業、学校、連合町内会や市民団体の「産、学、民」で構成される「大楽毛地域づくり協議会」が設立され、地域の将来像の実現に向けて大型歓迎看板の設置や憩いの場の造成、地域資源マップの作成などを行いました。</p>	 <p>【歓迎看板の設置】</p>
--	--	---

輝くまちづくり交付金(市民協働推進課)	
目的	<p>市民と行政が協働、連携して公益的な事業を実施することで、地域やまちの課題を共有し、課題解決を通じて地域の活性化を図ることを目的としている。</p>
交付金	<p>交付金総額 300万円 (本市からの他の補助金などを受けていない事業)</p>
事例紹介	<p>《安心して暮らせる コミュニティ都市を目指して》</p> <p>高齢社会で安心して暮らしていくことや、コミュニティの大切さを理解してもらうため、地域食堂に併せ、昭和歌謡ショーや講演会を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="368 1144 911 1496"> <p>《くしろ輝く日曜朝市》</p> <p>釧路の食文化は、市場からはじまるといっても過言ではないと考え、「市場による釧路活性化」の実現に向け、その活動の一步として、「くしろ輝く日曜朝市」を開催しました。</p> </div> <div data-bbox="919 1182 1362 1485">  <p>【福祉施設での講演会】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="368 1563 911 1899"></div> <div data-bbox="919 1574 1362 1912">  <p>【くしろ輝く日曜朝市】</p> </div> </div>

市内の大学生からのまちづくりに対する意見

次代を担う若い人たちのまちづくりに対する意識を把握するため、市内の大学生の皆さんにいただいた意見の一部を紹介するとともに、それらの意見が本計画のどこに関連しているかを示します。

○北海道教育大学釧路校 まちづくり意見発表会

2021年(令和3年)7月14日(水)

意見：防災訓練や*ハザードマップを持ってまち歩きを実施し、防災意識を高める機会を増やしてはどうか。

都市マス：6 都市防災方針（1）基本的な考え方 P68

「*釧路市地域防災計画に基づいた具体的でより実践的な防災体制の確立を図ります。」

意見：末広周辺への集客につなげるために、リバーサイドのイルミネーションを拡大してはどうか。

都市マス：釧路中部地域 P109

「都心部においては、旅行需要の積極的な取込みのほか、*まちなか観光周遊促進など、都市型観光の活性化を図ります。」

意見：春採湖ネイチャーセンターや博物館と連携した春採湖周辺の自然体験学習ができる拠点にするため、旧柏木小学校を宿泊施設として活用してはどうか。

都市マス：釧路東部地域 P119

「春採公園や武佐の森緑地については、身近な緑と接する体験学習の拠点として活用するとともに、自然環境の保全を推進します。」

意見：空きビルのリノベーションを行い、その中に学習スペースを確保するなど学生が利用しやすい環境を整備してはどうか。

都市マス：2 都心部のゾーニング（2）にぎわい交流ゾーン P73

「北大通の遊休不動産などの*既存ストック活用のための施策を推進します。」

意見：駅や北大通に気軽に来られるように無料の駐車場や駐輪場の整備をしてはどうか。

都市マス：2 交通体系整備方針（6）都心部における交通機能 P57



【北海道教育大学釧路校 意見発表会】

②駐車場の配置

「現況の駐車実態や将来の需要動向を把握し、官民の役割分担を踏まえながら各種施策を展開し適正配置に努めます。」

③駐輪場の配置

「駐輪場については、釧路駅周辺再整備や*乗換拠点の強化による公共交通網の形成などに併せて検討し、良好な駐輪環境の確保に努めます。」

○釧路公立大学 第2次釧路市都市計画マスタープラン説明会、ワークショップ
2021年(令和3年)7月15日(木)

意見：他都市と比べると夏は涼しく、冬は雪が少なくて住みやすいし、釧路湿原をはじめとした素晴らしい自然が魅力的。

都市マス：1 釧路市の現状(1)本市の位置づけ②気候、自然 P12

「夏季は冷涼で冬季は日照時間が長く、積雪が比較的少ないという特色を持っているほか、～省略～、世界三大夕日と謳われる釧路の夕日、阿寒湖の温泉などの豊かな地域資源が国内外からの高い関心を得ており、多くの人々を引きつけています。」

意見：釧路の夏は避暑に最適であることや、霧のまちとしての魅力をもっと市内外にPRしたほうが良い。

都市マス：2 まちづくりの基本目標(4)地域の価値が高まり多様な結びつきが生まれるまちづくり①釧路ファンを増やす取組みの推進 P29

「また、自宅以外の地域で生活するスタイルの受け皿として、涼しい夏季の気候を生かした長期滞在の受入や、地域の魅力に触れながら働ける*二地域居住の推進など、*交流人口や*関係人口の創出を図ります。」

意見：車は回り道をしなければ釧路駅の南北への移動ができないのは不便。

都市マス：釧路中部地域 P108

「都心部については、徒歩避難の円滑化や交通混乱の低減を図るため、鉄道高架下に複数の道路を整備するなど、防災や減災に資する道路網の再編を進めます。」

意見：海のまちである事を感じられれば、もっと釧路市の魅力を発信できるのではないか。

都市マス：1 都心部の整備方針 P72

「港町釧路を演出し、都心部にふさわしい風格ある景観づくりにより、その価値を高め、良好な景観を次代に引き継いでいきます。」

意見：スーパーや薬局などが固まって立地しており、買い物が楽。

都市マス：5 地域主体のまちづくり～まちのツボ～ P83



【釧路公立大学 ワークショップ】

「今後、人口減少、高齢化が進むことで、市街地の人口密度が低下し、日常生活に身近な医療や買い物などのサービスを受けることが難しくなることが懸念されます。今後のまちづくりは、一定の人口密度を保ちながら、生活に必要な*都市機能を維持し、効率的に進めることが重要となります。このようなことから、*釧路市立地適正化計画を策定し、*都市機能が集積している地区に、拠点を構築し効率的で将来に持続的なまちづくりが可能となるような取組みを進めています。」